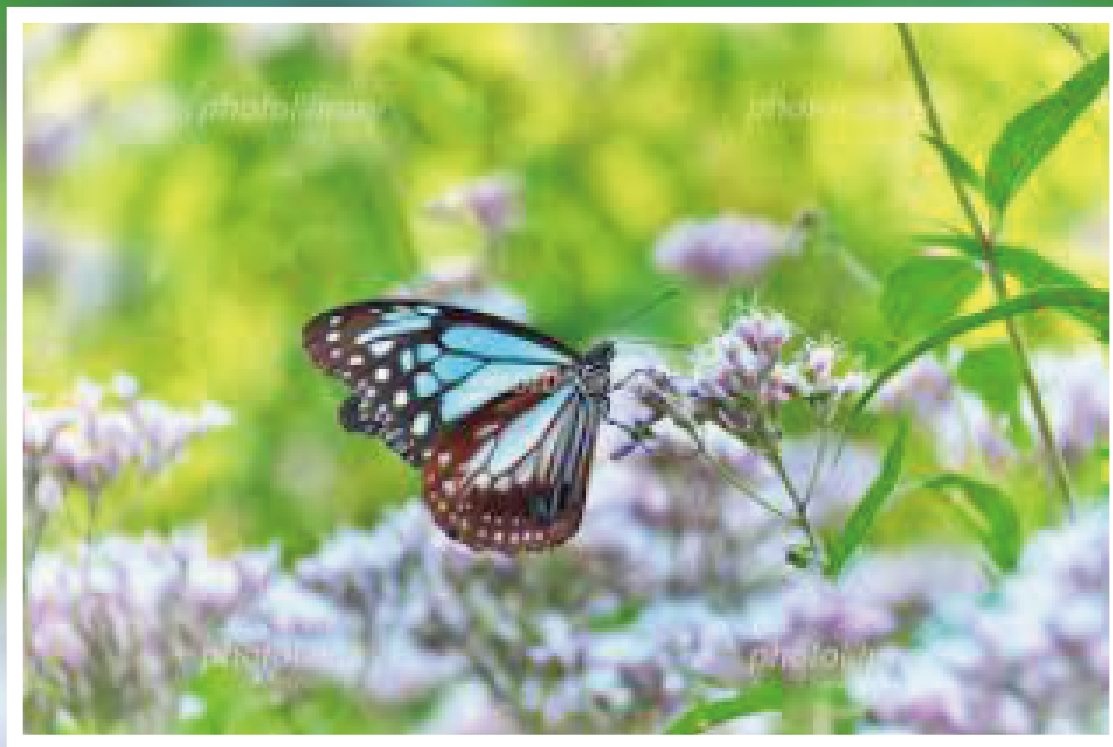


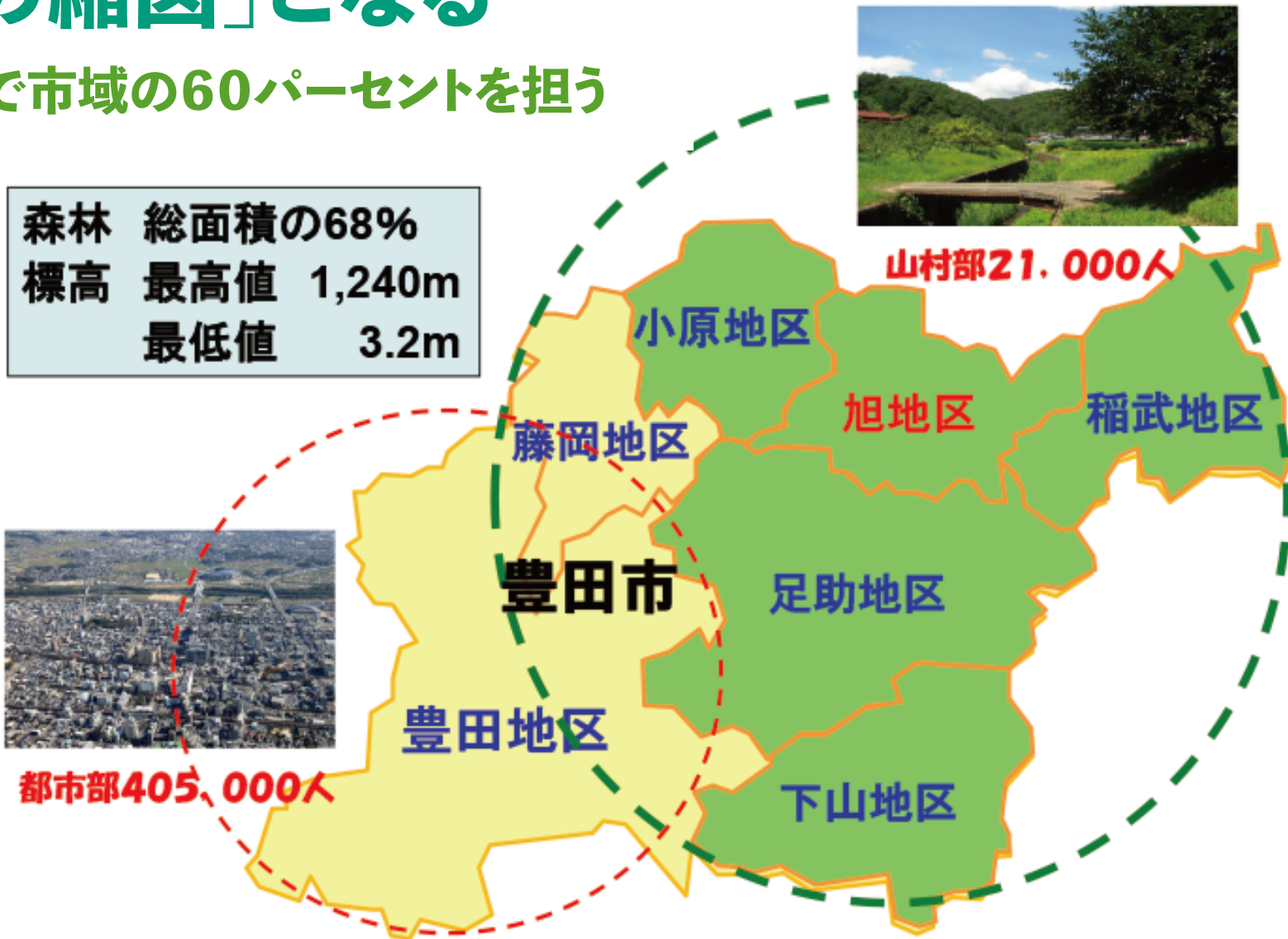
移住者受け入れで 地域は蘇る!!



愛知県豊田市敷島地区

2005年合併、都市が山村が共存する 「日本の縮図」となる

5%の人口で市域の60パーセントを担う



敷島自治区の概要

■自治区の地勢

豊田市の中山間地域に位置

面積: 21.7km²

標高: 約180m~530m

■自治区の人口 (R5.4.1)

人口: 903人(住民基本台帳)

世帯数: 324世帯(自治区調べ)

■集落数

9集落(町内会)

■公共施設

旭中学校

敷島小学校

杉本こども園

杉本郵便局

杉本駐在所



直ぐに来る ムラの消滅

10年前のムラ～10年後のムラ

人の空洞化

土地の空洞化

ムラの空洞化

心の空洞化 (何をやってもダメだ)

10年後を展望し
5年間の行動計画を定める

「しきしま♡ときめきプラン」



公開討論会

討論には、中学生やしきしまファンの都市部住民も参加

しきしま 暮らしの作法

私たちは、しきしまを豊かな暮らしの場として

未来につなぐことを決意し、

しきしまを愛する全てのの人々を温かく迎え入れます。

ここに暮らしの作法十か条を定め、これを守ります。

第一条 家、田畑、山林は地域共有の風景と考えよう。

第二条 家の周りをきれいにして暮らそう。

第三条 空き家を放置するのはやめよう。

第四条 田畑や山林を荒らさず、生業の種を育てよう。

第五条 高齢者が生涯現役で暮らせるよう支えあおう。

第六条 子どもは地域の宝、よその子も大切に育てよう。

第七条 歴史や伝統文化を地域の誇りとして守ろう。

第八条 あいさつを励行し、安全安心な地域をつくらう。

第九条 自分でできないことは、みんなで助け合おう。

第十条 地域の未来のために何ができるか考え行動しよう。

令和二年三月 敷島自治区

移住者受入れは空き家活用が決め手

10年間の移住実績

40世帯 98人

空き家片付け
大作戦



暮らしの参観日(空き家見学会)

「関係人口」が、山村地域の持続化を支える

年度の「交流人口」

延べ5,000人

「こめっこクラブ」



さくら村「ガキ大将養成講座」



福蔵寺 ご縁市



スモールビジネスが地域の経済循環を生む

10年間毎年1事業以上のスモールビジネスが起業



「あさひ薪研」



農家民宿「ちんちゃん亭」



「ターン女子の菓子工房
「杉ん工房」

プラン策定（移住者受入）の背景

○「日本再発進！若者よ田舎を目指そうプロジェクト」

2009～2011年、豊田市が募集したプロジェクトに全国から50人が応募。選考された10人の若者が、有機農業をなりわいとする田舎暮らしにチャレンジした。



○排他的な住民意識に変化

メディアの反響、若者への感情移入、失敗させては地域の恥。

○地域リーダー（区長）の決断

若者・移住者受入後の自治区の将来ビジョン「しきしま・ときめきプラン2010」を策定。

開かれた共同体（新・共同体中心社会）のイメージ

これまで

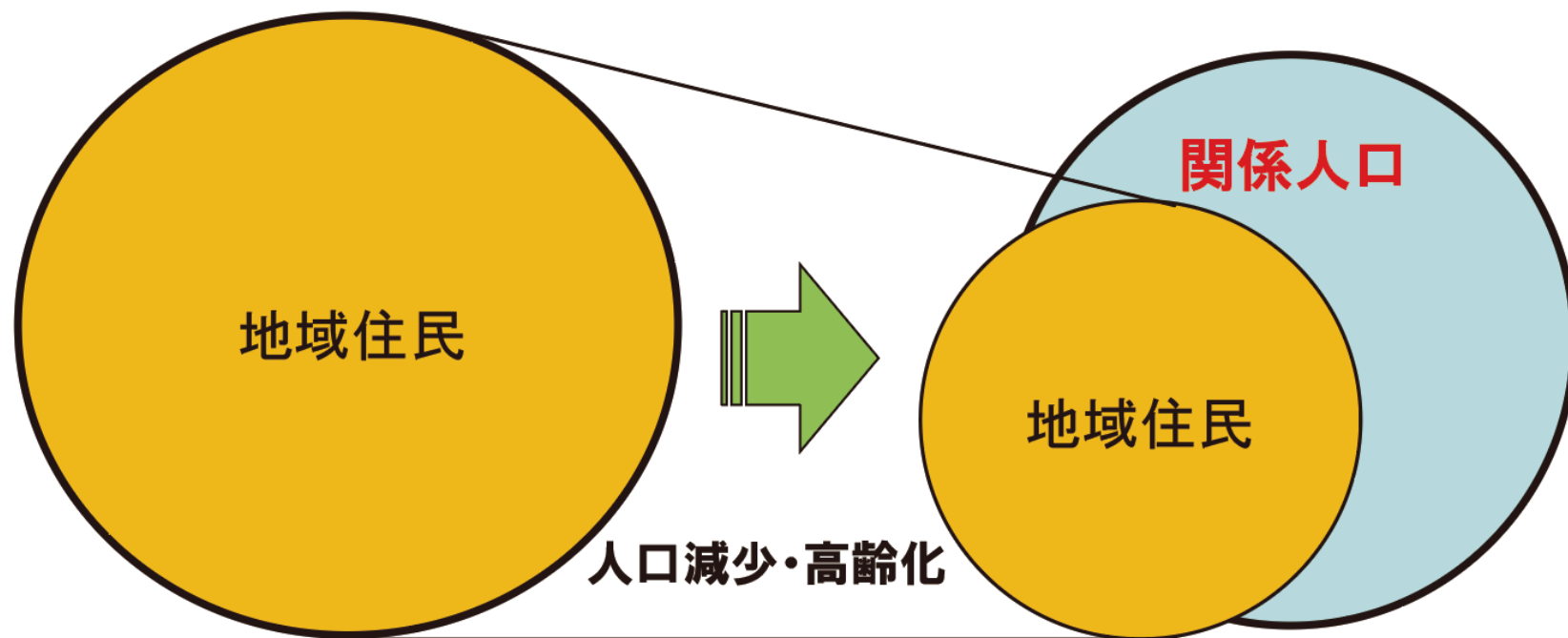
地域自治 = 住民自治

地域住民が主体性を持って自立し、地域課題を解決

これから

地域自治 = 関係自治

地域住民と関係人口が共に自治の主体となって地域課題を解決



「関係人口と共に支え合う新しい地域自治」

分野横断重点プロジェクト

プロジェクト名	概要	具体的取組み
① 支え合い社会創造プロジェクト	人口減少・高齢化を正面から受け止め、小数社会で幸せに暮らすため、経営として成り立つ、持続的な 地域支え合いシステム を構築する	<ul style="list-style-type: none">・困りごと、手伝えることのデータベース化を図る・支え合い拠点の整備・MYパワーへの電力切替推進による財源確保
② 農地保全プロジェクト	耕作放棄地の拡大は、農村景観を損ない、定住促進の足かせになるだけでなく、 集落消滅の引き金 となる。CSA農業などで敷島エリア全体の農地を保全する	<ul style="list-style-type: none">・中山間直払広域協定締結でエリア全体の農地保全・加算措置を活用した農地保全人材の確保・農村RMOモデルの検討
③ 未来への構造改革プロジェクト	持続的な地域経営、人口規模に合った地域行事や組織、集落の再編、withコロナ社会のコミュニティのあり方について調査研究し提言する	<ul style="list-style-type: none">・地域運営組織の検討・全戸アンケートを踏まえた組織再編等の指針提言・デジタルアーカイブ

お披露目会に約200名の参加

2023年4月1日(土)「しきしまの家」オープン



太田市長の挨拶
その場で「地域
共生社会推進全
国サミット」へ
のしきしまの参
加が決まった。

しきしまの家のなりたちと施設概要

なりたち

2022年「しきしま・ときめきプラン2020」重点プロジェクトを推進するために、拠点施設の必要性が浮き彫りになりました。

空き物件となっていた旧杉本保育所を有効活用し住民ボランティアによるDIYを中心に整備、430人から寄せられた支援金により水回りなどが整備されました。

住民や関係人口が家族のようにつながり、わが家のように集える場所になって欲しいと「しきしまの家」と名付けられました。

2023年4月1日オープン。

併設するカフェ「ふらつとyui」は、2024年4月本格オープン。



施設概要

所在：杉本町三斗成1-3

電話：0565-77-5733

mail @ shikishima.org

<https://shikishima.org>

運営：しきしまの家運営協議会代表 後藤哲義

敷地面積：1,444㎡

建物面積：130/158㎡

建築年：1971年

構造：鉄骨平屋

契約：賃貸

果たす役割

- 敷島自治区事務所
- 支え合い事務局
- 困りごと相談窓口
- 農地保全相談窓口
- 移住相談窓口
- みんなのたまり場
- 関係人口交流拠点
- イベント会場
- 農産物集荷拠点



地域運営組織「しきしまの家」概念図

経営的手法で地域課題を解決する2階を増築

自治区の方針に基づき、経営的な観点や手法で具体的に事業を実施する。

方針

地域課題を協議、方針を定め行政と共働して実践する。

2階

しきしまの家(農村RMO)

支え合いプロジェクト事務局

農地保全プロジェクト事務局

しきしま活動団体プラットフォーム

関係人口とつながるテーマ別の活動団体、都市部企業等

1階

敷島自治区(任意団体)

定住促進部

環境保全部

福祉健康部

次世代育成部

安全安心部

広報部

分野横断重点プロジェクト推進チーム

町内会、農事組合など地縁的団体

しきしまの家 4～10月の主な取組み

支え合いマッチング50件



ふらっと祭 毎月1回



共生社会全国サミット参加



農村RMO実証事業



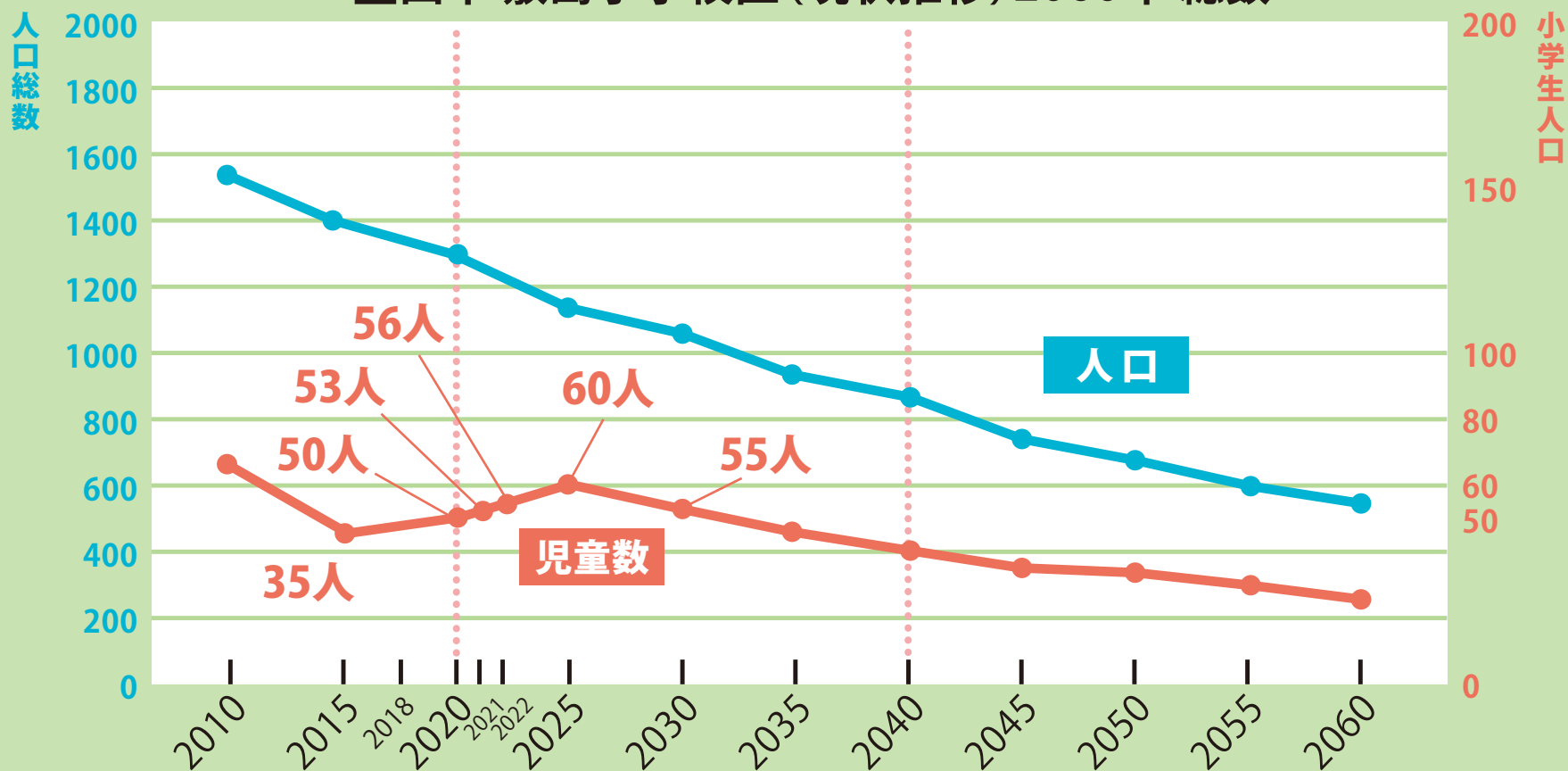
空き家活用のすすめ



敷島小学校区の人口・児童数（現状推移）

何もしなくても2025年までは**児童数が増える**

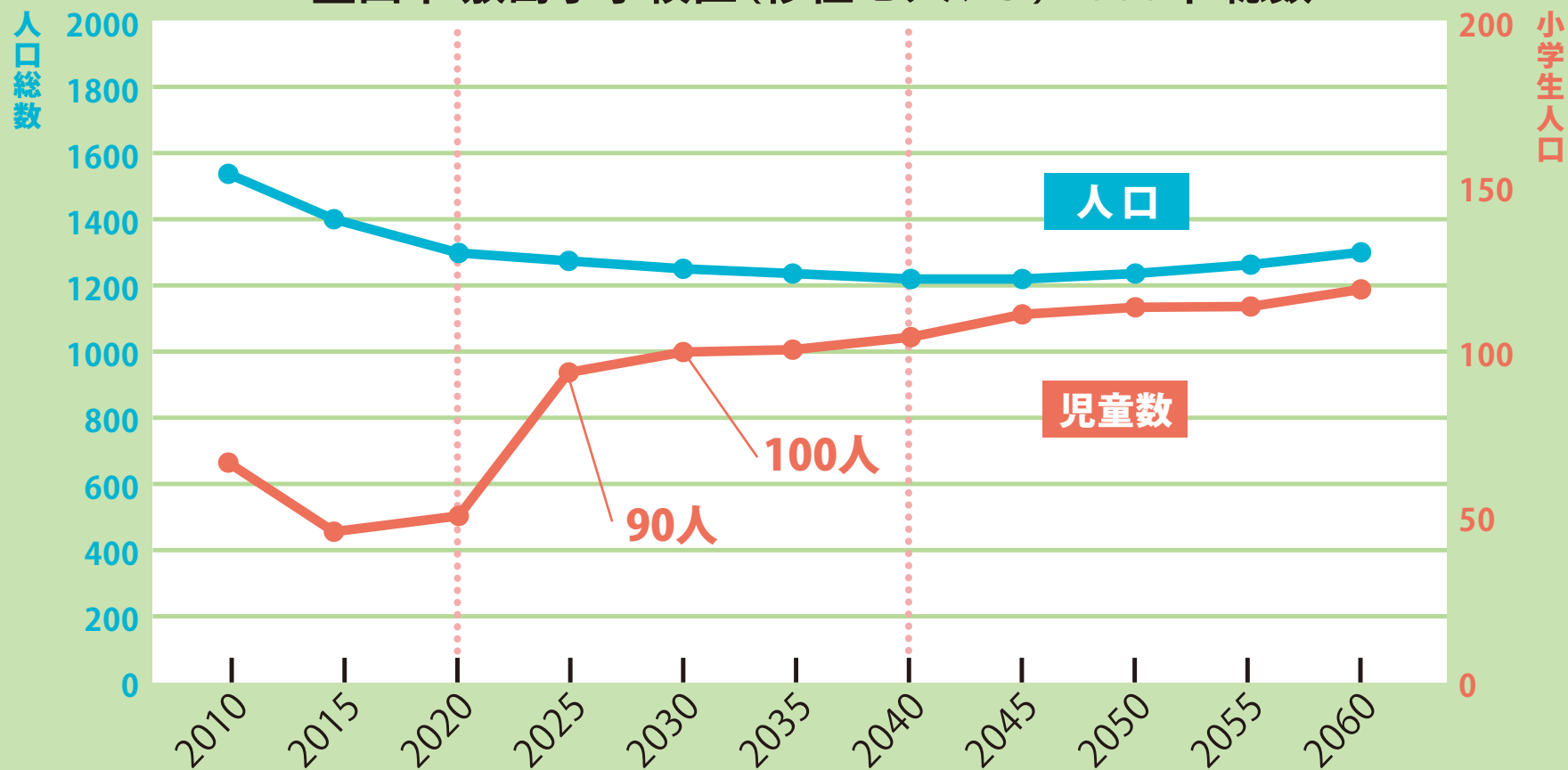
豊田市 敷島小学校区（現状推移）2060年 総数



敷島小学校区の人口・児童数（移住モデル）

3世帯／年の子育て世代の移住で**100人規模の学校**

豊田市 敷島小学校区（移住モデル3）2060年 総数



真庭市 北房地区

現状モデル



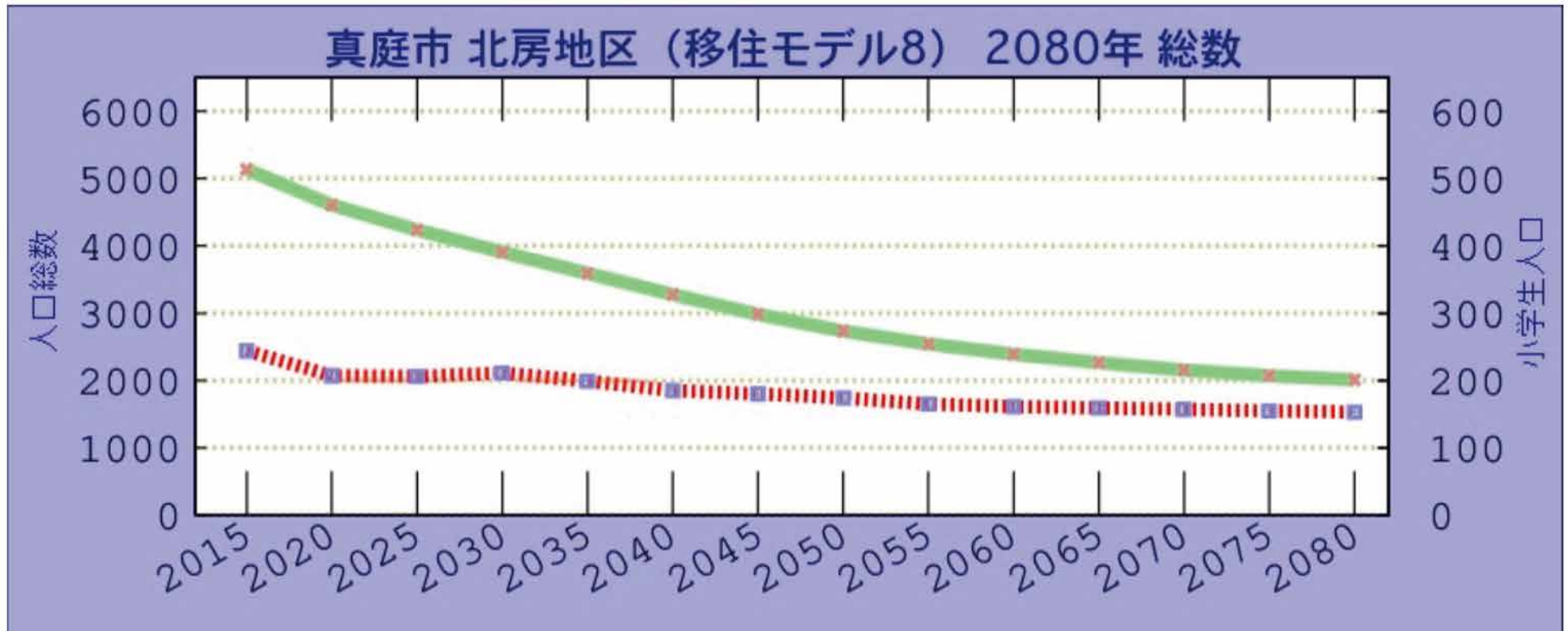
真庭市 北房地区

移住モデル 4



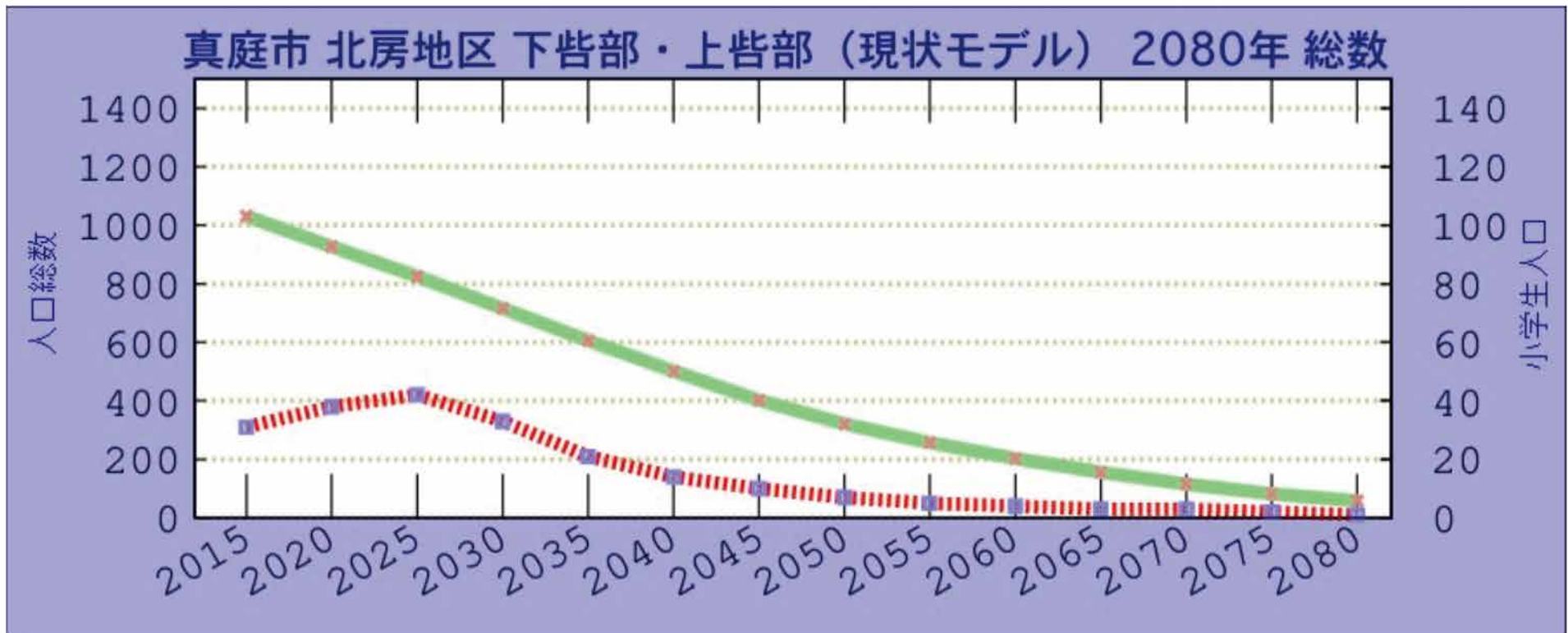
真庭市 北房地区

移住モデル 8



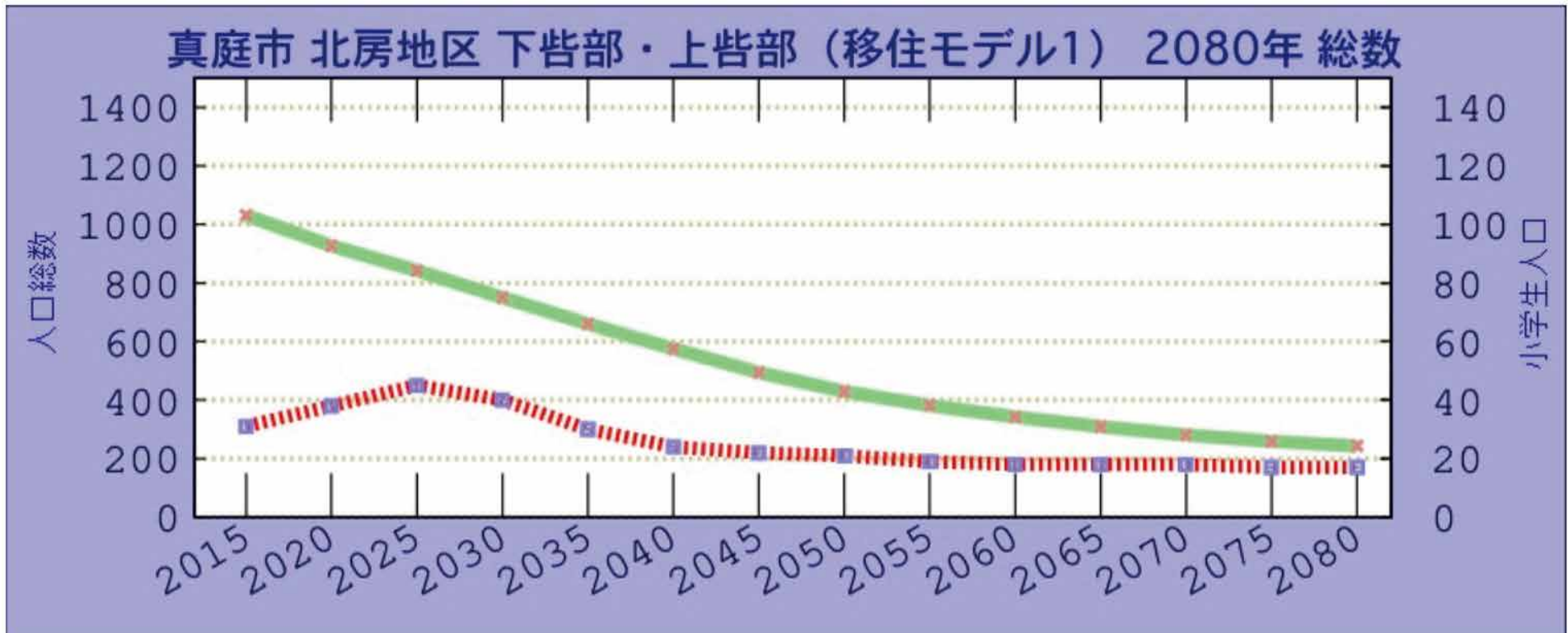
真庭市 北房地区 下峯部・上峯部

現状モデル



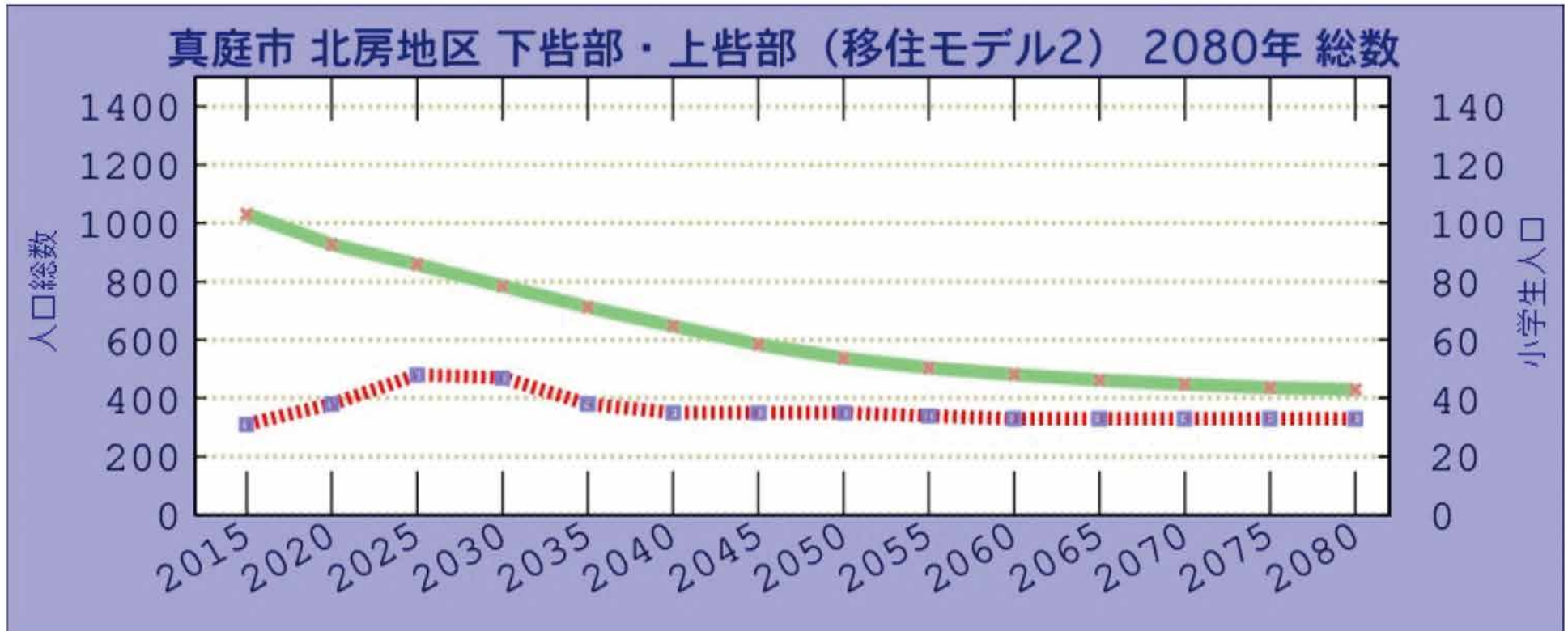
真庭市 北房地区 下皆部・上皆部

移住モデル 1



真庭市 北房地区 下皆部・上皆部

移住モデル 2



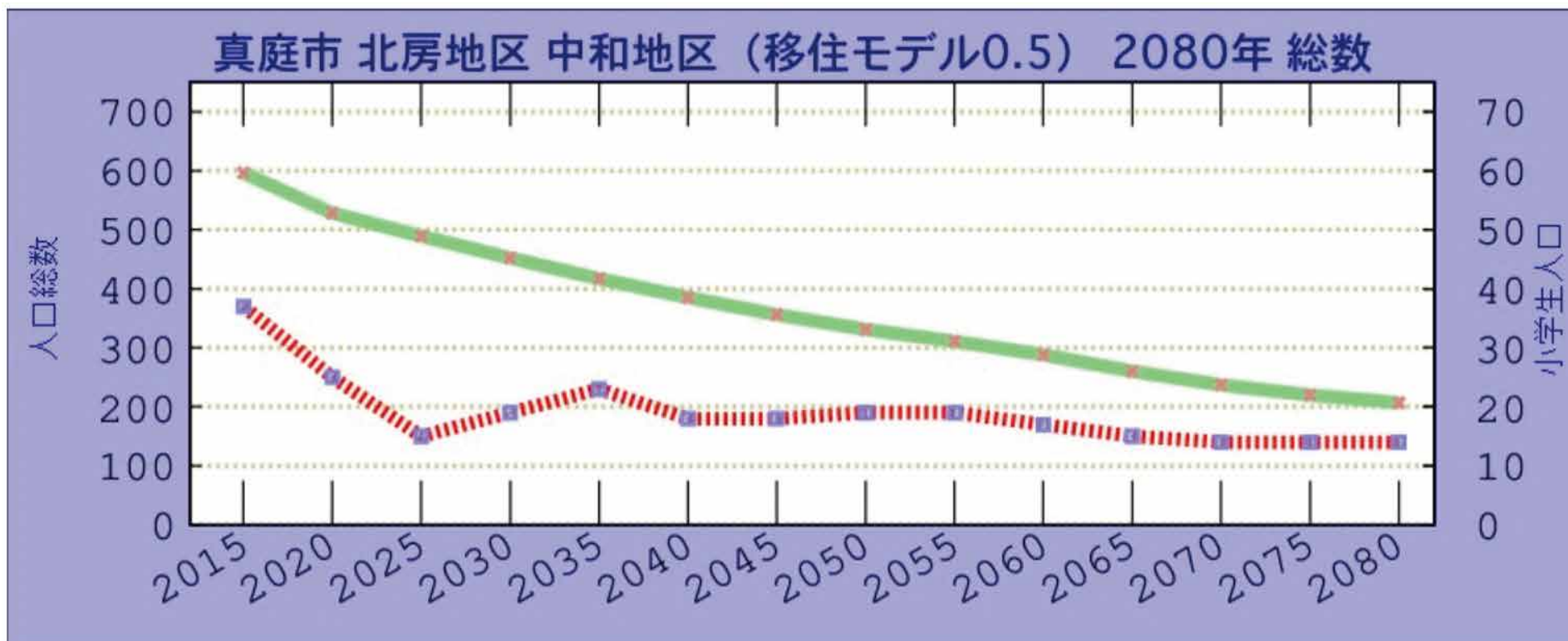
真庭市 北房地区 中和地区

現状モデル



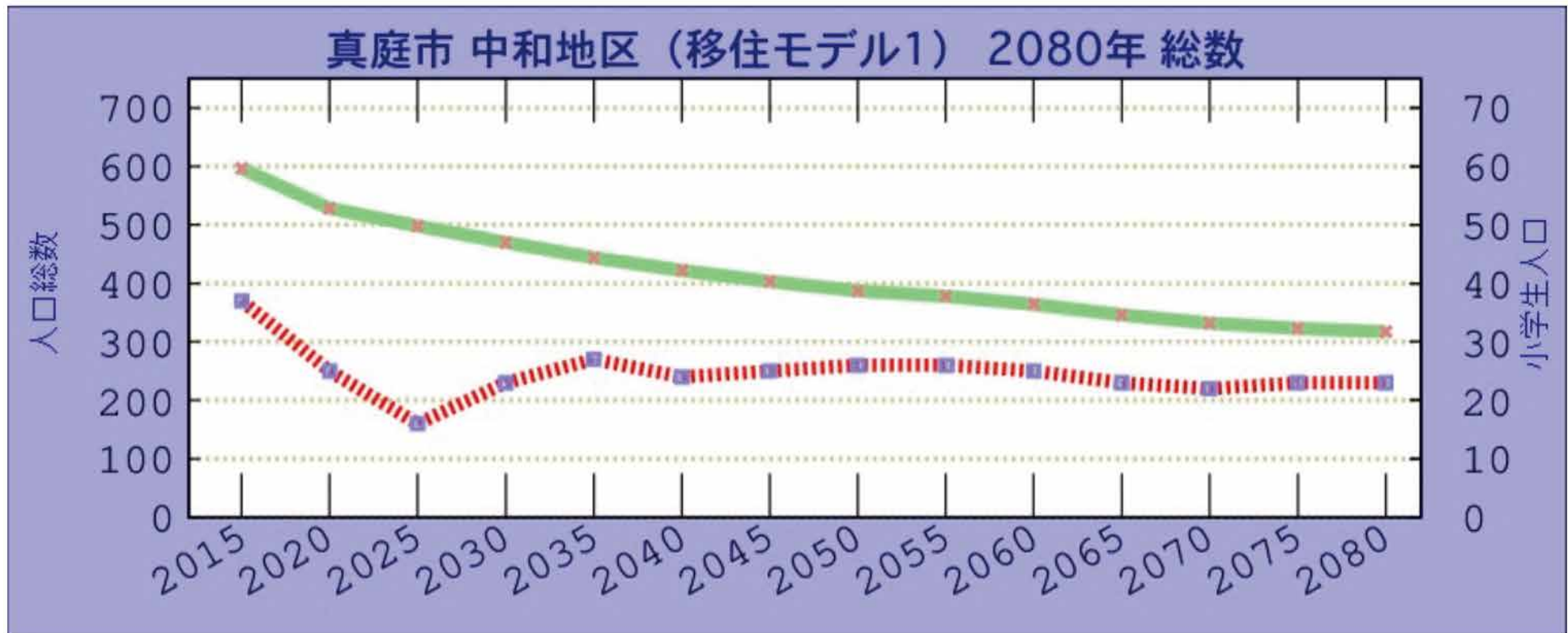
真庭市 北房地区 中和地区

移住モデル 0.5

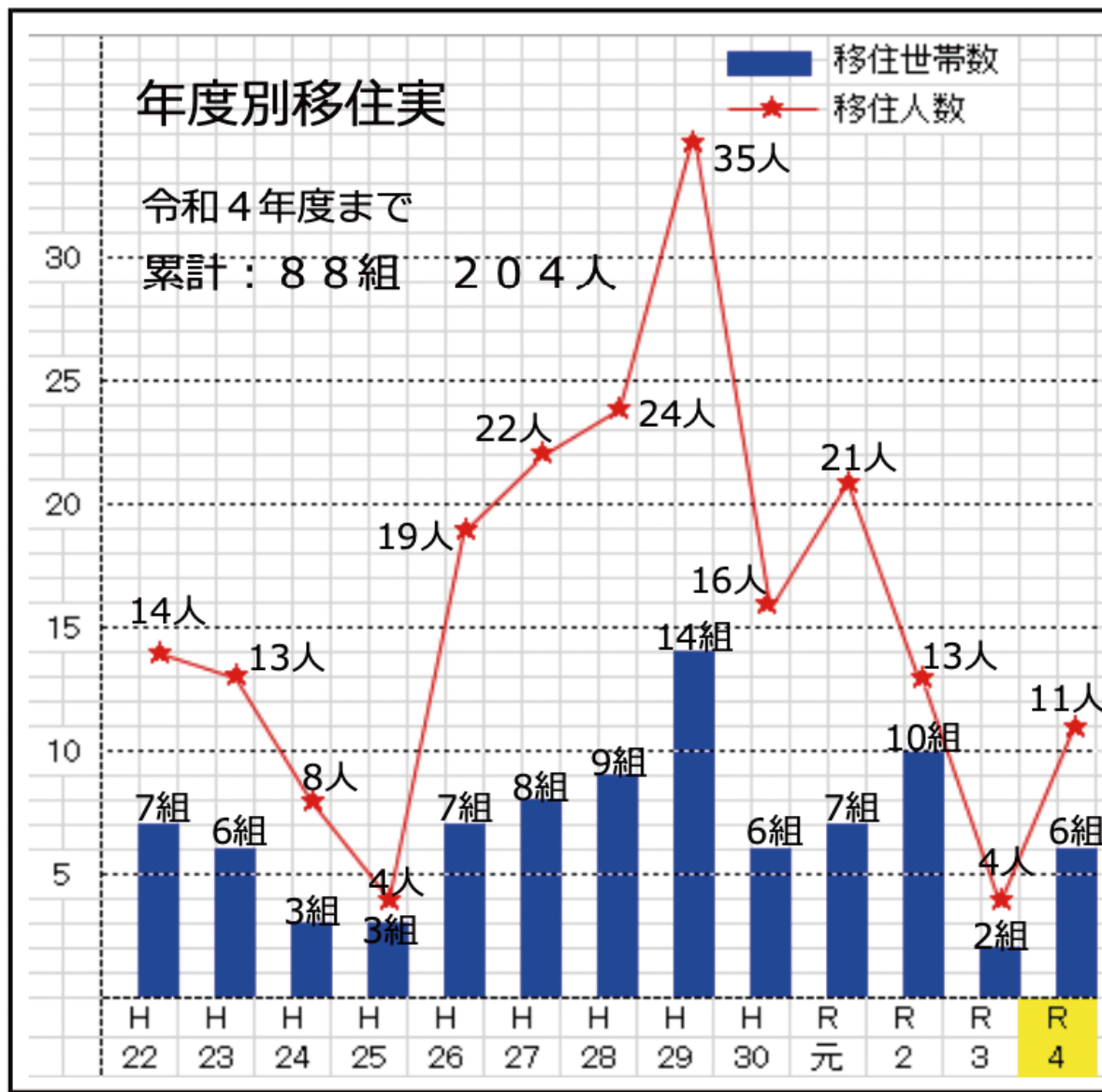


真庭市 北房地区 中和地区

移住モデル 1



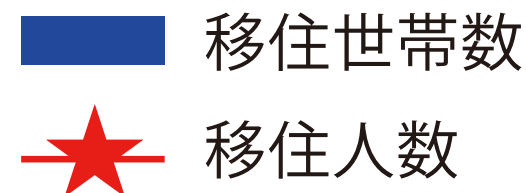
空き家情報バンク制度の実績



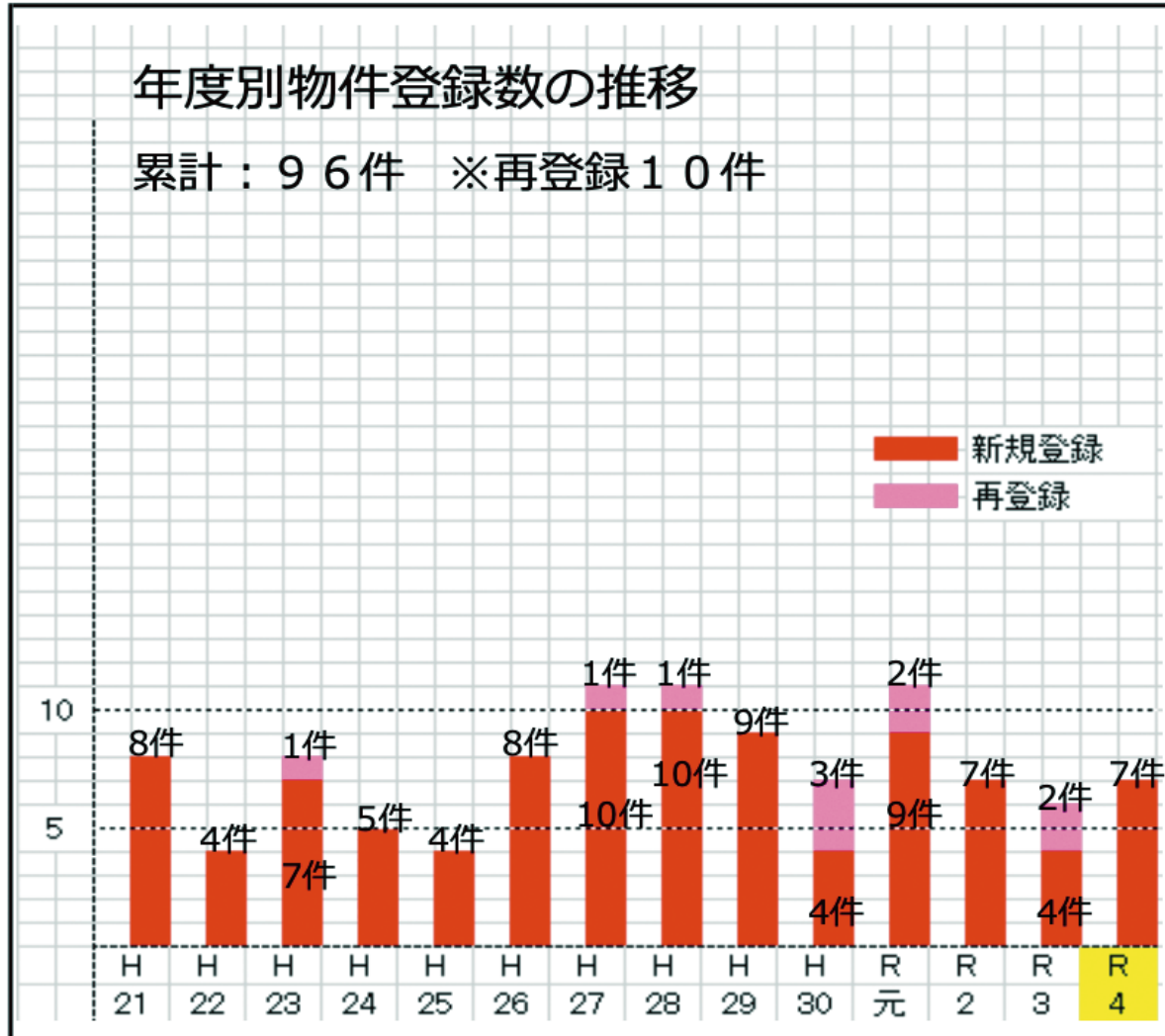
年度別

移住実績

の推移



空き家情報バンク制度の実績



年度別 物件登録数 の推移



初めての空き家交渉

- ① 交渉前の準備
- ② 家主との交渉
- ③ 地域面談
- ④ 入居が決まったら

① 交渉前の準備

ア: 地域を知る

イ: 動きを知る

ウ: 制度（空き家情報バンク・法律）を知る

エ: 空き家（関連物件含む）を知る

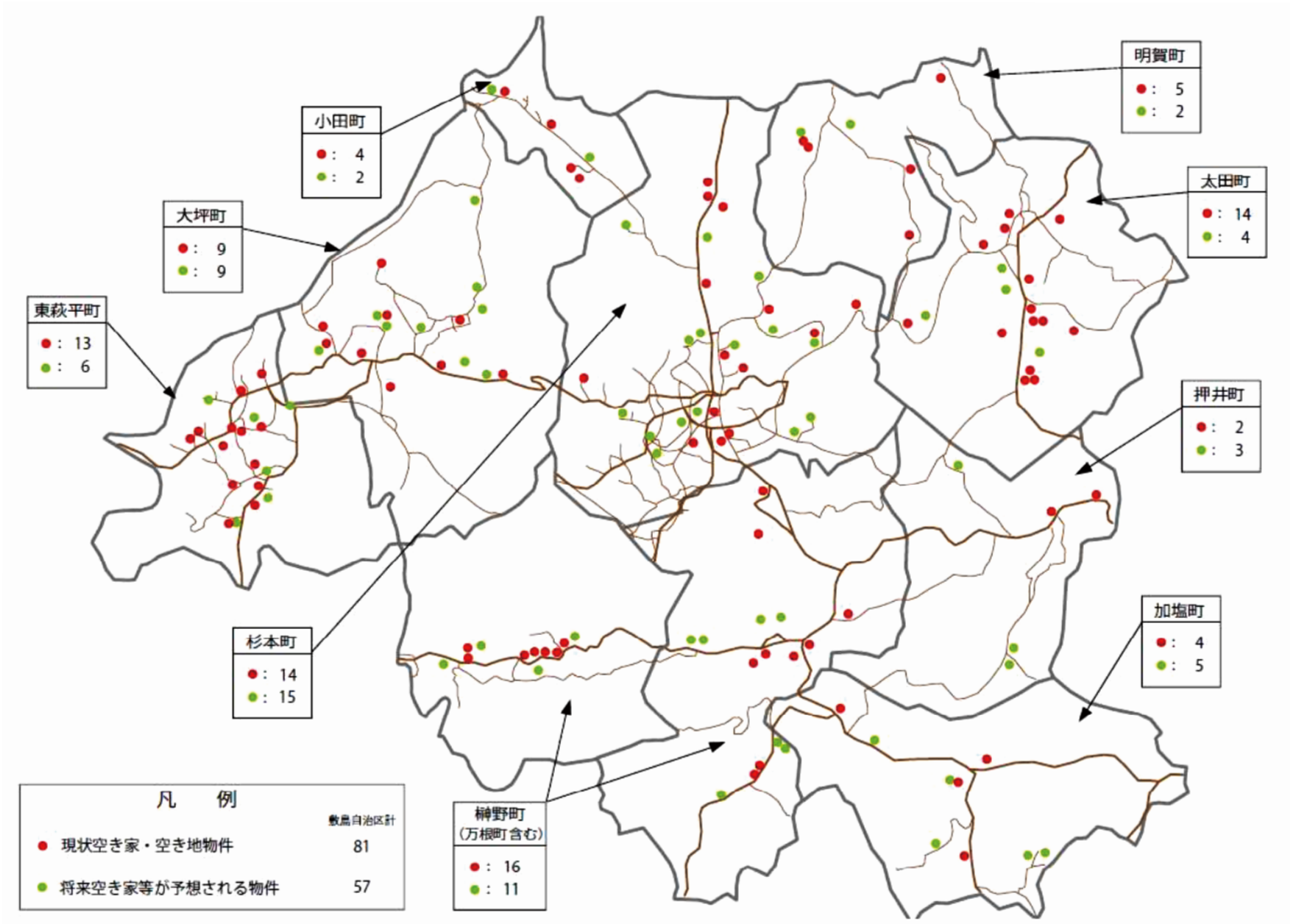
オ: 家主を知る

① 交渉前の準備

ア: 地域を知る



空き家・空き地のプロット図(敷島自地区)



居住形態図



① 交渉前の準備

イ: 動きを知る



7 分野別計画

1 定住促進		都市住民との交流を通して敷島ファンを増やし、地域活動への参加や農産物の直接販売につなげるほか、空き家や遊休地の活用により定住へと結びつけ、地域活力の維持、過疎の抑止を図る。							
テーマ	分野の目標	項目	現状	5年後	10年後				
交流から定住へ 空き家活用を広げよう		交流人口	5,000人	5,500人	6,000人				
		有用人材等誘致	—	2件	5件				
		空き家登録	—	15戸	30戸				
	UI ターン世帯	—	10戸	20戸					
施策項目	方針	主な予定事業							
(1) 都市との交流	団体等が行う都市との交流事業を支援すると共に、交流人口から関係人口、定住へと誘う。	①都市農山村交流支援事業							
(2) 定住の推進	町内会に定住推進員を置き、空き家登録の推進、UI ターン者の増加を図る。また、地域に有用人材等の誘致を図る。	①地域人材等ウェルカム事業 ②住まいの情報バンク事業							
5 か 年 ア ク シ ョ ン プ ラ ン	事業名	2020	2021	2022	2023	2024	主体	活用制度	
	(1)-① 都市農山村交流支援事業(※)	連携・支援						自治区 町内会	交流居住センター さんそんセンター
	(2)-① 地域人材等ウェルカム事業(※)	調査・試行		実施				自治区 町内会	わくわく事業 さんそんセンター
	(2)-② 住まいの情報バンク事業(※)	空き家発掘登録・定住促進						自治区 町内会	空き家バンク さんそんセンター
	重点-① 支え合い社会創造プロジェクト	参画						福祉健康、次世代育成、安全安心分野と連携し、定住促進を図る	

※「都市農山村交流支援事業」は、各団体の取り組みを掌握し、団体間の連携やPRなどをサポートしつつ、交流人口の拡大、定住への誘導を図るもの。

※「地域人材等ウェルカム事業」は、UI ターン者の数だけではなく、高齢者を含め、地域の魅力づくりや運営に必要な人材や企業、団体などを、空き家や遊休地の活用し、ターゲットを絞って誘致、地域活性化につなげるもの。

※「住まいの情報バンク事業」は、空き家の発掘と登録、「暮らしの参観日」や「空き家片付け大作戦」などを通じ定住促進を図るもの。また、「私とお家の明るいミライ宣言」を活用し、今後、空き家になることが見込まれる物件所有者への働きかけを行うほか、UI ターン者の定着に向けた入居後の支援にも取り組む。

① 交渉前の準備

ウ: 制度を知る

空き家情報バンク・法律

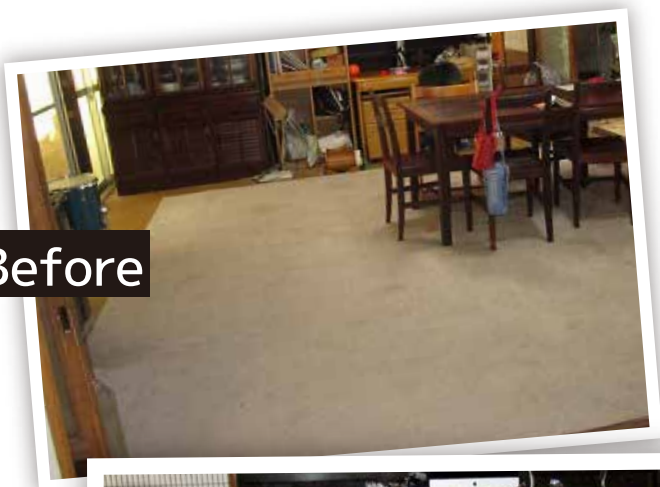


① 交渉前の準備

ウ: 制度を知る

改修補助金

Before



Before



After!



After!



① 交渉前の準備

ウ: 制度を知る

片付け補助金



 SMART VILLAGE

フリーマーケット
11月16日(土)
(雨天決行)
10:00~14:00

地域の皆様、SG社員の皆様

リフォーム前にフリーマーケットを開催致します。
皆様お誘い合わせの上、ご来場下さい。
心よりお待ちしております。
出品したい方も大歓迎です!

11:30~BBQも予定しております。
SG社員で参加希望者はSI管理部まで、ご連絡をお願いします。

出品予定品

- ・アンティーク家具
- ・魅力的な骨董品
(食器、古美術品、古道具)
- ・謎の人形 等

MAP: 豊田市東萩平町



この看板が目印



2019/10/30 SV運営委員会 

① 交渉前の準備

エ：空き家を知る 関連物件含む





① 交渉前の準備

オ：家主を知る

- ・タイプ（頑固、優柔不断、優しい）
- ・地域、友人関係
- ・職業、趣味

② 家主との交渉

- ア: 空き家になる前
空き家になったら
- イ: 友人、親戚、役職者を頼る
- ウ: 複数で、役所を加える
- エ: 交渉の入り方
(雑談、公共性、本人・地域の課題解決)
- オ: タイプ別のコミュニケーション



③ 地域面談

ア: 地域面談は必要か

イ: 何を聞くのか
(入居者、地域)



④ 入居が決まったら

ア: 移住者

イ: 家主

ウ: 地域

